

八清親和会 自治会役員の一とり言

令和4年5月7日

No34

八清親和会 副会長

吉田祐治

“開設しては消えて行く”自治会のホームページとブログ

副題:何故、短期で消えていくのか？

八清親和会と各自治会との、ホームページ、ブログの違いは何か！

平成23年(2011年)に昭島自治連のホームページがスタートした。その中に自治会のホームページとブログ投稿ページも設けられ、96の自治会中、60の自治会が開設したが、八清親和会が開設準備をしていた平成28年(2016年)には、約半数の自治会が休止状態、または撤退していた。

その後も休止や撤退が増え、今では年数回のブログ投稿自治会を含め、常時ブログを投稿している自治会は、97自治会中10以下になってしまった。

ホームページやブログを開設しても、ほとんどの自治会は、投稿期間が1年、長くても2年以内の短命で消えてしまうのは、なぜか？

八清親和会のホームページ開設、ブログ投稿は平成29年(2017年)の後発参入であったが、今や、今や令和4年で6年目に入った。

何故、他の自治会は短期で消えていくのか？

八清親和会と各自治会とのホームページ、ブログ投稿の違いは何か！

で見ると、それは、

八清親和会と各自治会のホームページやブログ投稿に対する
「基本」や「目的・目標」の本質な違い

である。

まず、違いの第一点は、

ホームページ・ブログに対する「基本」と「目的・目標」である。

ホームページを作る、ブログを開設する前に大切なことは、

- *ホームページ・ブログの役割を知ること
- *ホームページ・ブログを開設する目的を明確にすること
- *ホームページ・ブログの閲覧対象を明確にすること
- *ホームページ・ブログの管理者、投稿者を固定化し、長期に渡り携わること
- *ホームページ・ブログに投稿する、自治会情報が投稿者に集まる“しくみづくり”

であり、これが基本である。

これを基に「自治会のホームページ・ブログは、何のために使うのか」を明確にする必要がある。

- *自治会の案内
- *自治会の行事・活動内容の紹介、PR
- *自治会の定期的な情報の提供

の、3つである。これは、自治会だけではなく「自治連のホームページにも当てはまる基本と目標」でもある。

八清親和会はこれらを基本にして、ホームページを作成、ブログを開設したのである。

違いの第二点は、

スタート時の基本や目的を念頭に置き、目標を定め、長期に渡り活動している。

最初からホームページやブログの基本が解かっていたかと問われると、全くの素人であった。

ホームページに関わり始めたのは、平成28年(2016年)に第3ブロック長として自治連に関わり、当時の広報委員会に所属し、自治連会報の作成に携わり、同委員会にあったホームペー

の推進活動を身近に見てきた。

この時、前々期（5年前迄）まで、自治連会長を務めた宮田氏から、ホームページとブログを開設したらと言われ、ブログ投稿の講習を受けたのがきっかけであった。

当初60の自治会がホームページやブログを開設していたが、平成28年には約半数の自治会が休止状態、または撤退していた。

これらの休止・撤退原因や、如何に復活させ、また、新規開設の自治会を増やすかが、当時の重要課題であったことを覚えている。

このため、ブログ投稿講習後、すぐに投稿は行わず、約1年ほどを掛けて、他市の自治連や自治会のホームページやブログを調査した。その結果が冒頭に記した自治会ホームページとブログの基本と目的である。

そして、これを土台にして、八清親和会ホームページを作成し、ブログを開設し、常にこの基本と目的が形骸化しないよう、活動してきたのである。

今や、「開設しては消えて行く」自治会のホームページとブログを「うさぎとカメ」の童話に例えるならば、どうしてウサギはカメに負けたのか。カメはウサギに勝ったのか、ウサギはスタートが早かったが、油断して昼寝をしてしまい、カメは遅かったが、一步一步しっかり歩み続け、最後にウサギを追い抜いたのである。

即ち、自治会のホームページやブログも、基本や目的をおろそかにして開設を急ぐと、長続きしないとすることである。また閲覧者の対象を明確にし「声を聞き、声を拾い（改善）」画面や投稿内容を改善することも重要である。

その結果、昭島の自治会で一番内容が充実し、一番投稿年月が長く、投稿件数も多い自治会となった、これが他の自治会との大きな差となって現れている。

違いの第三点は、

八清親和会は、ホームページのトップページを大事にしている。

自治会ホームページのトップページは、自治会を知っていただく「顔」である。会員以外の一般閲覧者は、自治連ホームページから入ってきた場合でも、最新情報を見てから投稿している自治会はどのような自治会かを見る。また、検索エンジンから直接入って自治会のトップページ（自治会案内）を見る場合もある。しかし、トップページを見て期待外れにがっかりするのである。

今や自治会は、昭和の町内全世帯が自治会に加入して、各自治会統一した紹介や内容が当たり前の時代から、平成・令和は、世帯の意思に委ねられた任意加入の時代である。このため、各自治会も画一的な紹介や内容ではなく、各自治会の特色・特徴を生かした、自治会をPRする時代であることを忘れてはならない。

今の若い世代や現職世代は「自治会・町内会」と言っただけで、まず手書きやペーパー主流の古い体質の自治会・町内会をイメージして、これだけで敬遠してしまう。

これを払拭するためにも近代的な、特色・特長をアピールする自治会紹介が必要である。

例えば、自治連ホームページの自治会ページ「案内」画面を見ても、各自治会の画面が、画一的な地図で占められていることが、まさに昭和時代の発想そのものである。

これは、各自治会ガイドに掲載されている地図と自治会リストで充分である。

自治会紹介を、この画面に甘んじている自治会も問題である。ブログ投稿担当、あるいは投稿者も、自身が所属している自治会案内を見て、このような画一的なもので満足していますか。

また、今の時代に即していると思っていますか？

閲覧者のニーズを把握し取り入れないと、ホームページやブログは長続きしない、また、成功しない。 ブログ管理者、投稿担当、あるいは投稿者が決まって、長期に携われますか？

管理者、担当あるいは、担当者に“情報や投稿材料が集まるバックアップのしくみ”が出来ますか？ これを疎かにしても長続きはしません。

また、上部団体の自治連も、ホームページ、ブログの発想を変え、自治会ホームページやブログ投稿の模範を示すべきだ。

以上

今回は、昭島自治連のホームページやブログが、何故駄目なのかについて寄稿する。